

## 会 議 事 録

1 会議名	平成26年度 第1回長岡市高齢者保健福祉推進会議
2 開催日時	平成26年6月3日(火曜日) 午後1時30分から午後3時30分頃まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	<p>(委員) 本田委員長            長谷川剛副委員長                   赤柴委員                磯部委員            今井委員                   加邊委員                小林啓一委員       小林守委員                   佐合委員                関委員               竹内委員                   竹日委員                南雲委員            長谷川和明委員                   藤田委員                堀委員               松田委員                   山崎委員</p> <p>(事務局) 福祉保健部長                   福祉総務課長ほか関係職員                   介護保険課長ほか関係職員                   長寿はつらつ課長ほか関係職員                   健康課長ほか関係職員                   長岡市社会福祉協議会事務局長</p>
5 欠席者名	鯉江委員、小林和子委員、小山委員、米山委員
6 議題	<p>(1) 長岡市高齢者保健福祉推進会議について          (2) 部会及び部会員の指名等について          (3) 第5期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について          (4) 第6期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について          (5) その他</p>
7 審議の内容	
発言者	議 事 内 容
福祉総務課企画係長	皆様、本日はお忙しいところお出でいただきましてありがとうございます。それでは定刻になりましたので、ただいまから平成26

<p>福祉保健部長</p>	<p>年度第1回長岡市高齢者保健福祉推進会議を開会いたします。</p> <p>本日の会議ですが、御欠席の方がいらっしゃいまして、鯉江康正委員、小林和子委員、小山剛委員、米山宗久委員、以上4名の方が欠席でございます。あらかじめ御報告させていただきます。</p> <p>まずはじめに、長岡市を代表いたしまして、福祉保健部長よりごあいさつを申し上げます。</p> <p>皆さんごめんください。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>御案内のように、高齢者福祉につきましては、昨年度くらいからいわゆる団塊の世代の皆さんが65歳以上になられたと言われておりまして、高齢者の仲間入りをされたわけですが、ただちに介護が必要という方はそう多くはありませんが、今後10年くらいすると、特に介護の需要が大きく膨らむだろうと言われているわけでございます。</p> <p>そういう中で、国としましても高齢者介護、高齢者福祉についての新しい枠組み、方向性を出していかなければいけない、ということで昨年度くらいから本格的に議論がありまして、来年度以降の施行に向けた総合的な関連法の改正案が、現在国会で審議されているという状況であります。</p> <p>その中で、今年度の高齢者保健福祉推進会議におきましても、私ども長岡市のような基礎自治体が3年に一度の介護保険計画を策定する年度にあたっておりまして、この会議におきましても総代の皆様方からの御意見をいただくようなことを考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>いろいろな課題は山積している法案になりますけれども、基本的に従来の介護の仕組みのあり方に加えて、高齢者の方の絶対数が増えて人口減少ですので、相対的に高齢者の割合が増えているわけですが、むしろ高齢者の皆様方が高齢期の人生をより豊かに過ごしていただくことで、そういう環境を私ども行政も含めて用意していく中で、できるだけ健康で自立して、社会貢献をされていくような、そういう社会環境ということが、大きな意味で、そういう方向で計画をまとめていくことが肝要ではないかと思っています。とかく介護といえますと、受身のほうの介護サービスはどうか、ということが往々にして中心となったわけですが、それはそれとして、今後その体制を築きあげると同時に、8割以上お元気である高齢者の皆さま</p>
---------------	---

<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>んが、より地域の中で社会に貢献され、活動される方向を、この会議の中でも御議論いただければと思っております。</p> <p>少し長くなりましたが、今後第6期の計画につきましても、皆様方からの御意見もいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、「2 自己紹介」に移ります。</p> <p>このたびは、当会議の委員就任を御承諾いただき、誠にありがとうございました。ここで、委員の皆様にお一人ずつ、自己紹介をお願いします。</p> <p>では、赤柴委員から順に、マイクをお渡しいただきながら、自己紹介をお願いいたします。</p> <p>(各自自己紹介)</p>
<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。</p> <p>福祉保健部長からは先ほどごあいさつ申し上げましたので、福祉総務課長から、お願いします。</p> <p>(各自自己紹介)</p>
<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>それでは、ここで資料の確認をいたします。事前にお配りした資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 1</li> <li>・資料 2-1、2-2</li> <li>・資料 4-1、4-2、4-4</li> </ul> <p>の7種類。また、本心配付資料として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 3</li> <li>・資料 4-3</li> <li>・資料 5</li> <li>・長岡市高齢者等生活実態調査報告書</li> <li>・委員名簿</li> <li>・本日の配席図</li> </ul> <p>をお配りしております。以上でございます。不足等はないでしょうか。</p>

福祉総務課長	<p>それでは、「3 委員長、副委員長の指名について」福祉総務課長から申し上げます。</p>
	<p>はい。それでは御説明させていただきます。「資料 1 長岡市高齢者保健福祉推進会議設置要領」を御覧ください。</p> <p>これにつきましては、本会議の設置要領でございます。詳細については後ほど御説明させていただきますが、「第5（委員長及び副委員長）」第1項「会議に委員長及び副委員長を置き、市長がこれらを指名する。」とございます。</p> <p>誠に恐縮ではございますが、私ども長岡市といたしまして、委員長として本田史朗委員、副委員長として長谷川剛委員からお引き受けたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
福祉総務課企画係長	<p>それでは、本田委員、長谷川剛委員におかれましては、恐れ入りますが、委員長席、副委員長席にお座りください。</p>
	<p>それでは、本田委員長、長谷川副委員長から、一言ごあいさつをお願いいたします。</p>
委員長	<p>ごめんください。ただいま指名がございました、委員長を務めさせていただきます。社会福祉協議会の本田と申します。よろしく願いします。</p> <p>これから進めていくわけなんですけれども、第5期の計画が現在進んでいる最中です、それから先ほど福祉保健部長からお話のありましたとおり、第6期の高齢者福祉保健と介護計画について、この二つを皆様とともに検証しながら作り上げていきたいと思っております。</p> <p>時間も限られた中で、皆様と進めていきますので、よろしく願いいたします。</p>
副委員長	<p>ごめんください。副委員長に指名されました長谷川です。私は民生委員児童委員の立場から、皆様方とともに福祉に努めてまいりたいと思っておりますので、御協力よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは進めさせていただきます。</p> <p>議題に入る前に、会議の傍聴について、確認したいと思います。</p>

<p>福祉総務課長</p>	<p>この会議は公開です。本日、傍聴希望者がいらっしゃいます。委員の皆様、傍聴を許可してよろしいでしょうか。</p> <p>公開ということで承認をいただきましたので、傍聴を許可することといたします。</p> <p>今日は午後 1 時 30 分から 3 時 30 分となりますので、事務局からの説明あるいは御意見を織り交ぜながら、進めていきたいと思っております。</p> <p>それでは、「4 議題」の「(1) 長岡市高齢者保健福祉推進会議について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>それではもう一度、資料 1 を御覧ください。 (資料 1 に沿って説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。(1)は、要領に書いてあるとおりでして、新しい任期、そしてそれが3年間ということ。そして計画は平成27年から始まる第6期の計画について皆様に伺うということでございます。</p> <p>それでは、今の説明に対して、質問や意見はございますでしょうか。</p> <p>質問がないようですので、次に進みたいと思います。</p> <p>それでは、「(2) 部会及び部会員の指名等について」ですが、指名に先立ちまして、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>介護保険課長</p>	<p>介護保険課長です。よろしくお願いたします。それでは「資料 2-1 長岡市高齢者保健福祉推進会議地域密着型サービス運営部会設置要領」を御覧ください。 (資料 2-1 に沿って説明)</p>
<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>続きまして、長寿はつらつ課長です。私のほうからは「資料 2-2 長岡市高齢者保健福祉推進会議地域包括支援センター運営部会設置要領」について御説明いたします。 (資料 2-2 に沿って説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、事務局から資料 2-1、2-2 の説明がありました。こ</p>

	<p>の推進会議の中に地域密着型サービスと地域包括支援センターの二つの運営部会を設けようということで、委員の皆様にはこれから指名があり、そこに入っていただき、いろいろな御意見をいただくということでございます。</p> <p>それでは、各部会の部会員、部会長及び副部会長を設置要領に基づき、指名をしたいと思います。</p> <p>地域密着型サービス運営部会は、鯉江康正委員、小林和子委員、小林啓一委員、小山剛委員、関典世委員、竹内スミ委員、堀徳太郎委員、松田宣治委員でございます。部会長は鯉江委員に、副部会長は松田委員にお引き受けいただきたいと思ひます。</p> <p>また、地域包括支援センター運営部会は、磯部静子委員、加邊純雄委員、佐合ヒロ子委員、竹日世津子委員、藤田功委員、米山宗久委員をお願いしたいと思っております。部会長は、米山委員、副部会長は、加邊委員にお引き受けいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p> <p>地域密着型サービス運営部会は介護保険課が、地域包括支援センター運営部会は長寿はつらつ課が事務局となりますので、併せてよろしくお願ひします。</p> <p>この任期の初めですので、この推進会議の性格、部会の体制等について協議させていただきました。</p> <p>それでは、次に進みたいと思ひます。</p> <p>「(3) 第5期長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>それでは、説明資料といたしましては、「資料 3 長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 進捗状況報告書」でございますので、こちらを御覧いただきたいと思ひます。</p> <p>私のほうからは、高齢者等の概況ということで1～4ページまで御説明させていただきます。</p> <p>(資料 3 に沿って説明)</p> <p>長寿はつらつ課長</p> <p>続いて、5～7ページについて御説明させていただきます。</p> <p>(資料 3 に沿って説明)</p>
--	---

健康課長	<p>それでは引き続きまして、8～11ページについて御説明申し上げます。</p> <p>(資料 3 に沿って説明)</p>
長寿はつらつ課長	<p>続きまして、13～21ページについて御説明いたします。</p> <p>(資料 3 に沿って説明)</p>
福祉総務課長	<p>引き続き、22～23ページについて御説明いたします。</p> <p>(資料 3 に沿って説明)</p>
介護保険課長	<p>続きまして、24～31ページを御説明させていただきます。</p> <p>(資料 3 に沿って説明)</p>
福祉総務課長	<p>長くなりまして申し訳ございません。最後に、32ページ以降について御説明させていただきます。</p> <p>(資料 3 に沿って説明)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの関係につきましては、高齢者の保健福祉計画、高齢者の生きがいつくりと社会参加、健康づくり、介護予防、そして介護保険事業では各事業の量的な利用状況等々、そして最後は地域で支え合う体制の報告でございますけれども非常に幅の広いものでした。それだけいろいろな手立てがあって進んでいるのだな、と感じておりますけれども、進捗状況について、皆様のほうで、この点についてもう少しという点、あるいは質問や意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>よろしければ、次に進みたいと思います。</p> <p>では、「(4) 第6期長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について」事務局から説明をお願いします。</p>
福祉総務課長	<p>それでは、これまでは第5期の計画について実績、進捗状況等を御説明させていただきましたが、ここからにつきましては今度新たに策定いたします第6期の計画の内容について御説明させていただきます。</p>

<p>委員長</p>	<p>まず、「資料 4-1 第6期長岡市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について」を御覧ください。  (資料 4-1 から 4-4 に沿って説明)</p> <p>ありがとうございます。第6期の計画について、その基本的なこと、今後のスケジュール、そして国全体が6期に持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革を進めている中において、第9期2025年、10年先を見据えた形で第6期は作らなければならない、作りましょうということで、今までの進捗状況等を含めて、具体的な長岡市の課題となるものが5つほどあるということでございます。</p> <p>皆様は今までずっと聞く側と言っておかしいんですけども、今日は基本的に今までの流れと方向という土台の部分になるかと思いますので、御容赦願いたいと思いますけれども、皆様のほうから自由闊達に御意見いただければと思います。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今いろいろお話をお聞ききする中で、私は法人の職員で事業者側の立場ですので、今後の方向性をお聞きした中で、どうすればいいかなというのは考えていかなければならないと思います。やはり地域のニーズにマッチしたサービスを現実的に考えていくことが大事なのかなと私自身は思っています。状況においてサービスによっては過剰になっていて、現実的なことを言いますと、サービス事業者においてはサービスを提供していてもなかなか利用されない事業もあったり、また、サービスが足りなくて、まだまだ作っていかねばいけない事業もありますので、今後は実際にマッチしたものが計画の中に入っていけばいいのではないかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。その他いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>ますます精緻な計画になるので、本当に大変ですがよろしくお願ひします。お話を聞きながら、こういう制度が始まる前は、これをみんな家庭でやっていたのかなと思ひながら、御苦勞様と思ひますがよろしくお願ひします。</p>
<p>委員</p>	<p>よろしいでしょうか。私は今回からの参加で右も左も分からない</p>



<p>福祉総務課長</p>	<p>のですが、先ほど福祉総務課長にお話ししていただいた地域包括ケアシステムの構築がありましたね。今度の改正の部分でしょうか、これがいまいち分からなかったんですけども、例えばこれは要支援1・2の方を対象として、訪問介護とか通所介護の部分に限り、今度は全部一律の制度枠ではなく市町村がサービスの内容や用途を決めていくんだ、ということが議論されている、そういうことでしょうか。</p> <p>誤解を招くような言い方になってしまい、申し訳ありません。国が言っているところでは、今までいわゆるお亡くなりになられる方について、例えば施設とか病院とか、終末期といったものが地域から離れた状況で暮らすことが起こりえた、ということが、今後は最期までずっと住みなれた地域で暮らしていけるような体制づくりを、というところが包括ケアの大きな主目的になります。議題の「(5)その他」のところになりますが、今、長岡市でも取り組みを始めさせていただきましたので、そのあたりにつきましては、後ほど詳しく担当課長のほうから御説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>委員長</p>	<p>地域包括ケアシステム、住みなれた地域での生活を中心にしながら介護サービスをやっていく、その中でいろいろ重点化、効率化ということでしょうか。その部会もありますので、今の方向でひとつお願いします。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今、目で追いながら一生懸命説明を聞かせていただいております。私は説明が分かりやすくよかったなと思っています。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>とにかく持続可能な社会保障制度の確立というけれども、かなり介護保険制度が緊迫している状態なのではと思うんですね。具体的に考えた場合、うちには95歳の親がいるものですから、介護保険を利用しているんです。でも介護保険の利用の内容について、かなり無駄と言っては申し訳ないんですが、例えばうちの母は歩行器を借りています。それは冬になると外に出ないわけですよ。そしたら</p>

	<p>いくら利用料が 300 円であっても、3,000 円かかっているわけです。だからそれを返す、というような、本当に細かいことですが、日常、介護保険制度を使っていると、相当やはり無駄があるのかな、と。その代わり、解約するたびに再度また契約しなければならないんです。でも、うちはあえてそれをやっています。300 円くらいだからいいや置いておく、みたいなことがあるのかないのか。</p> <p>それともう一つ思うのは、認知症サポーター研修について、数が何千人と言いますが、私は 2 回か 3 回受けたのですが、ただそこで 1 ~ 2 時間の研修をして、オレンジリングをもらって、そうなのよ、という。もっと学びを深めていただきたい、そういう感じがしています。</p> <p>それから高齢福祉に係る長岡市の課題、ということでとても 5 つ、ものすごく大きな問題だと思うのですが、私自身も老いを考える会で問題提起をしながら皆と一緒に考えながらいきたいと思っています。以上です。</p> <p>素晴らしい御意見ありがとうございます。</p> <p>私は精神病院で認知症の介護が必要な患者さんを診て、もう一つは地域総合サービスセンターで訪問介護とか訪問看護等を統括しているんですけども、どこでも同じ問題が起こっているのが、みんな特別養護老人ホームに入りたがるんですね。なぜかと言いますと、介護をする家族のかけるエネルギーが、金銭的にも、物理的にも、身体的にも少なく、受けられるサービスが特養は非常に高いんです。他のものになればなるほど、金銭的にお金がかかったり家族の負担が増えたり、いろいろなことが起こるんです。それで結局病院でも特養待ち、保健施設でも特養待ち、それからサービス付き高齢者住宅の人も特養待ち、ほとんどのところで特養を待っている人がたくさんいるんです。なぜかと言うと、特養だけがメリットが大きく、他のところとの差が大きすぎるんですね。そういうことで、それが解決されない限りは、どんなサービスをたくさん作っても、みんな特養を待っているだけ、というあまり良くない状態が続くんじゃないか。いろんな部分をやっているんですけども、みんな最終的には特養に行きたいという。ほとんど家族ですよ、本人はそんな感じなくなりますから、そういうことがありますので、特養と他のところの差が少なくなると、今の状況はなかなか変わり</p>
委員長	
委員	

<p>委員長</p>	<p>にくいんじゃないかなという印象を持っています。</p> <p>いろいろなサービスの中でも中身の差があまりないような形が良いということですね。</p>
<p>委員</p>	<p>難しいのは、特養はまだ他にサービスを受ける人が少なかった時代の中心的な存在であって、今のようにサービスが必要な人が多くなると、特養だけでは財政的にもあるいは介護力の問題でももたなくなってきた、いろいろな多面的なサービスが必要になってきたのですけれども、まだ特養の最初の少なかった時期のものがそのまま残っているために、他のところとの差が大きくなりすぎた。じゃあどうすればいいかという、身の丈に合った、日本の介護力の問題と財政力の問題など、いろいろな問題からつけなくてはならないので、なかなかこれをやれば解決するという方法が難しいので、試行錯誤をしながらやっていくしかないのでは、というふうに思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>今日はいろいろな御意見の中で、さまざまな見方、今までのような特養のサービスとの差が少しありすぎるのではないかと、ということでした。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今、言われましたように特養は費用も安くて入りやすいんですけども、普通に一般のものが今どんどん建っていますが、ああいうところは高くて入れないというのがありますし、そこらへんギャップがありすぎるので、年金も今そんなに多くもらっていない方たちもいますので、そういう方たちが入るのは大変かなと思ったりもしています。</p>
<p>委員長</p>	<p>今の高齢福祉保健、介護も入りますが、その他の御意見いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>防災の安全士ですが、高齢の方がだいぶ受験したり、この前のときに疑問に思ったのですが、講習を受けて、資格を持って、そして実際に活動できる、本当に何かあったときに皆さんをリードして、消防士とかそういう方たちが行かなくても、安全士の方たちが講習</p>

<p>福祉総務課長</p>	<p>に行く人数が増えたと資料にありましたけれども、実際に火災とか災害が起きた時に、今高齢の方がだいぶ大勢いらっしゃるみたいなんです、本当に活動できるのか、そういうところまで指導なさって受験対象をお取りになっているのか、お聞かせいただきたいと思えます。</p> <p>御質問につきましては、進捗状況の資料 36 ページを御覧になってということによろしいでしょうか。</p> <p>手元に資料がなくて、具体的にどのくらいの高齢者の方が受けてらっしゃるのかどうかまで、申し上げることができないのですが、考え方といたしましては、その方たちが直接的に避難誘導、避難活動をするということではなくて、例えば町内や各地域において、防災においては自助と公助の間に共助というものが非常に大事だと言われている中で、当然ながら、公助というものは災害の起きた直後は行けないところもあったりするものですから、そうすると例えば共助を受ける必要があるのか、特に避難行動要支援者という言い方になるのですが、そういう方々を町内としてどのように考えていくかという場合にですね、中越市民防災安全士という方たちが中心となって体制を組んでいく、中心となって、というのは実働部隊というよりも計画を作るときのコーディネーターとして役割分担をしていくということですので、少なくとも御高齢の方だからどうこうということはない、と理解しているところです。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>委員長</p>	<p>まだまだ皆さんのお話を、というところではありますが、タイムスケジュールからいきますと、今日はまず第 6 期計画の方向、そして、高齢者等生活実態調査報告書、これは前回ですと策定年度に調査をしていたんですけども、実態調査を 1 年早く行って、それをもとに計画していこうということで、まだまだ御意見をいろいろいただきたいのですが、ここで議題 4 については終わりたいと思えます。</p> <p>では、「(5) その他」ですが、事務局から何かありますでしょうか。</p>

<p>長寿はつらつ課長</p>	<p>では私のほうからは「資料 5 平成 26 年度地域包括ケアシステム推進事業の概要」について御説明いたします。</p> <p>(資料 5 に沿って説明)</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。地域包括ケアシステム、部会もありますけれども、基本的にはまた御意見も伺いながら進めるのですが、その骨子となる推進事業を今、説明していただきました。いろいろ進んでいるということでございます。</p> <p>それでは先ほど課題がありましたように、第 6 期、国の方針の他にも、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムの推進</li> <li>・多世代にわたる健康意識の醸成と健康寿命の延伸</li> <li>・要介護者及び施設・サービスの分布状況等を考慮した、地域密着型サービスの適正な整備、</li> <li>・緊急性の高い特養待機者の解消</li> <li>・元気な高齢者が、支援側において力を発揮するための仕組みづくり</li> </ul> <p>という市の課題も挙がっております。これを基にしながら今後策定を進めていきたいと思っておりますので、それと同時に先ほどいろいろ御意見あったものも、ここに包括されるのではないかなと思っております。策定を進めていきたいと思っておりますので、事務のほうもまたよろしく願いいたします。</p> <p>以上、今日は非常に聞くのが多くて、その土台となる基の報告でございました。方向性も少し見えてきたような感じもします。</p> <p>それでは全体を通じて他にないようでございますので、進行を事務局にお返しします。</p>
<p>福祉総務課企画係長</p>	<p>委員長ありがとうございました。</p> <p>皆様、長時間にわたり、御審議をいただきまして、大変ありがとうございました。また説明が盛り沢山で少しばかり時間を超過してしまい、申し訳ございませんでした。</p> <p>最後に、事務連絡をさせていただきます。</p> <p>次回の推進会議につきましては、計画の全体の総論をお示しできるのではないかと考えております。時期につきましては、8 月下旬ごろの開催を予定しております。委員の皆様には、開催日時</p>

	<p>が決まり次第、速やかに御案内を差し上げますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして2点目です。本日の会議の議事録につきましても、後日お送りいたします。なお、長岡市のホームページにも発言の部分を無記名という形で会議録を掲載させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>最後に、皆様にお配りしている実態調査の報告書ですが、万が一落丁がありました、綴じ込みがうまくなかったり、というものがございましたら、取り替えさせていただきますので、おっしゃっていただければ、また改めてお送りしたいと思います。</p> <p>それから、本日お車でお越しの方は駐車券の無料処理をさせていただきますので、閉会后、事務局までお声掛けください。</p> <p>それでは、本日はこれで閉会とさせていただきます。</p> <p>皆様、お忙しいところ大変ありがとうございました。</p>
8 会議資料	別添のとおり